

番組審議会議事録（第91回、令和8年2月開催）

1. 開催年月日 令和8年2月24日

2. 開催場所 ゆめタウン廿日市内FMはつかいちにて

3. 委員回答

委員総数・・・7名

回答委員数・・・7名

●回答委員 小松隆文・船附洋子・柴久美子・三浦実一・植村明美・銭谷綾介・堀川かなみ（代理出席）

●未回答委員

●放送事業者側 倉本良一・香川典加

4. 議題

これからの番組審議会のあり方、日頃お聞きになっている放送のこと、局全体のことなど何でもご意見をお願いします。

5. 議事の概要と審議内容ほか

■番組：メディカルカフェ@JA広島総合病院

（提供：JA広島総合病院）

金曜日12：20～12：35 翌週再放送

ゲスト：JA広島総合病院の医師・スタッフ

パーソナリティ：崎田えみ子

【番組主旨】

2025年10月からスタートしたコーナー番組。

JA広島総合病院の医師や医療現場で働くスタッフをゲストに迎え、医療の現場から健康に関する身近な話題までを、わかりやすく伝える15分間。

専門性の高い医療情報を、リスナーに寄り添った語り口で紹介することで、正確な医療知識の普及と健康意識の向上を目的。

パーソナリティの崎田えみ子が進行を務め、親しみやすく、安心感のある番組づくりを心がけている。SNSでも紹介。アーカイブページも。

放送回：10/3(金)

ゲスト：JA広島総合病院 病院長・糖尿病センター顧問 石田和史さん

テーマ：JA広島総合病院について

【番組について】

・院長先生の話がとてもはきはきして聞いてやすくて、こういう番組があるっていうのは自分自身も高齢になるので支えになる。身近なラジオである、救急車の出動が一番多いのが廿日市では宮島であるということが印象的だった。昔は弥山で登山者の事故などは消防団が出動、消防署員が背負っていたが、病院の人がヘリコプターで吊り上げて、JA総合病院の屋上まで運んでもらえるというのが知れた。先生もパーソナリティの話し方も良かった。貴重な番組。リクエスト曲は色んな年代の人達が居るが、カットして、話をもっと聞きたいと思った。今回は曲を飛ばして何度も聞いた。

・JA広島総合病院の現状と今後の取り組みについて、限られた放送時間の中で大変分かりやすく伝えられていた。地域医療を取り巻く状況や課題、今後の展望についても整理されており、専門的な内容でありながら、一般のリッスナーにも理解しやすい構成であった。ご出演された先生の話し方も非常に丁寧で、要点を押さえた分かりやすい説明が印象的。事前に伝えたい内容を十分に準備された上で放送に臨まれていることがうかがえ、安心感のある進行。短い時間ではありましたが、内容が的確にまとめられており、地域住民にとって有益な情報を得られる充実した番組であったと思う。

・身近すぎて知らないことだらけだったので、それを発信できることはFMはつかいちらしくてとても良いと感じた。時間も15分と短い時間だが、無理やり内容を詰めた感じでもないうえに、しっかり情報が入っていて聞きやすかった。最後の「皆さんがより身近に感じてもらえるように〜…」という言葉が一番印象的だった。

・聞いて内容はよく分かった。今どういう状態なのか、ヘリポートがあるのは知らなかった。ダヴィンチ手術など、いろんな情報が入ってきてありがたかった。早口なわけではないが、もう少しゆっくりでも良いかもしれない。

・とにかく聞きやすかった。今までは自身の周りの人が亡くなったり、知人のお子さんが勤務していたが過酷で退職したと聞いたりして、負のイメージしかなかったが、最新設備や地域の最先端医療、予防とケア等の話を聞いて、少しずつプラスになるように聞いた。中四国九州で救急搬送が一番多いというので驚いた。ヘリポートやダヴィンチ手術、個室が増えたり、産婦人科でも他に会わないように配慮されていたりと聞き、少しずつ改善が進んでいると感じ、今後に期待したい。JA広島総合病院の病院食は美味しいのかどうか知りたい。

・初めて救急がそんなにあるのかとか、予防やケア、公的支援をしていくと聞いて頼りになるんだろうな、と思った。番組を通して情報を出してもらえるので良い。先生が淀みなく話され、準備をして伝えて下さる姿勢が病院に対する安心感に繋がる、今後も聞いていこうかなと思える。少子化で高齢者が増えていくとなるとやはり情報が大事と感じる。

・自分の年を考えた時によく聞かなくてはと思って聞いた。良い番組と思った。良い病院、良いことを報告してくれたが、JA広島総合病院では紹介状がないと診察してもらえないのか、それとも過去に診察していて診察券があれば診察してもらえるのか、どういう風に利用出来るのかなど、事前に聞きたい内容をアンケートを取るなどして、構成すると良いと思う。